

(単位：円)

事業名	概要	目的	内容	概算事業費	実施団体・キーマン等	実施による効果	事業実施のスケジュール	
川口地内でAR事業	※ ARコンテンツを通じて、川口の名所、風景、歴史を知り、観光集客につなげるもの。	ARコンテンツを通じて、川口の名所、風景、歴史を知り、観光集客につなげる。	川口の各所（観光名所、被災地等）にARマーカーを設置し、ARコンテンツを製作する。同時に各所を回ると景品がもらえるスタンプラリーを実施する。ARコンテンツは、写真、文章など比較的製作が容易なもの。ARは「COCOAR2」というアプリで行う。スタンプラリーは同アプリ内で使用可能。	1,090,000		川口が好きな人なら誰でも。昔の写真、美しい風景写真を持っている人、文章が得意な人等がいると良い。	川口地内の各所にコンテンツを設置することで（スタンプラリーも併用）特別なイベントがなくても川口を訪れる人が増える可能性。	場所の選定 コンテンツの製作&収集 COCOAR社との契約 ARマーカー製作
川口米を育てて新米食す。 古民家泊withコロナ	田植え、稲刈り体験を通じて米のありがたみや、古民家の良さ、川口地域の良さを感じてもらい、交流人口の増加及び地域活性化を図るもの。	地域資源が少なく、どんどん衰えている中で、古民家の活用と自分米の育てて食べるまで。	1泊2日だけでなく、田植え～稲刈り。米を食べるまでの工程をポイントごとに宿泊して体験することで、米のありがたさや古民家の良さ、川口地域の良さを知ってもらう。自分の米が作れる。	498,500	・地元農家 ・古民家の管理業者 ・支所 ・他多数		交流人口の増加・地域活性化	田植え・・・1泊2日 稲刈り・・・1泊2日 (収穫祭)
みんなで防災体験	大規模な防災イベントを開催し、災害に備える意識を高めるもの。	中越大地震を経験したことのない子ども達とともに、川口の住民全体として大規模な防災体験をするもの。災害の怖さとその後の避難生活を体験するもの。	・中越大地震の写真や新聞または、ニュース番組を流す。 ・ハザードマップを展示し、自宅の場所の危険度、避難先の確認などジオラマみたいなのを作って目でみてもらう。 ・地震実験車、降雨体験車などを借りて体験してもらう。 ・災害後の生活を体験。例えば、ガスなどを使わない料理。段ボールの部屋。応急手当の仕方など。災害クイズをする。	694,000	・消防団 ・地域の防災担当者 ・医療関係者	災害時、後の救助がくるまでの自分たちの行動を体験してもらい、住民みんなの災害防災意識を高めるもの	中越大地震 10月23日前後の日曜日	
メイドイン川口 美味しいものをがっつり 食べて民泊 コロナに負けるな	川口地域の特産品の生産過程を見学体験し、川口地域の良さを知ってもらうことで、交流人口の増加及び地域活性化を図るもの。	地元の特産品、ひげにんにくや鮎、マコモダケを作った料理を作って川口の良さを知ってもらう。	特産品の生産過程を見学体験。調理を含めて実際にやってみてもらい食べる、そして泊まる。	455,250	・(株)えちご川口農業振興公社 ・生産者、農家 ・地域代表 ・支所 ・他多数		交流人口の増加・地域活性化	夏のイベント時期 春や秋等の収穫時期

※Augmented Realityの略。「拡張現実」の意味。

実在する風景に、デジタル合成などによって作られたバーチャルの視覚情報を重ねて表示し、人間の現実認識を強化して拡張する技術、またはコンピューターによって拡張された現実環境を指す。

「拡張現実感」「強化現実」「増強現実」とも呼ばれる。【IT用語辞典/大塚商会記載より】